

令和5年度不動小学校授業改善プラン

第3学年

	課 題	解決のための手だて
国 語	【領域：書くこと】 ○語と語や文と文の続き方に注意しながら、文章を書くこと。 【領域：読むこと】 ○文章を読んで分かったことを共有すること。	・書く内容を明確にし、内容のまとまりごとに「はじめ・中・終わり」を意識して書かせるようにする。 ・初発の感想や授業の振り返りなど、自分の思いや考えを書かせる時間を確保し、共有することで、どんなことを書けばよいかの参考にさせる。 ・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、読んで分かったことをノートに書き、友達と共有して確かめ合う活動を取り入れる。
算 数	【領域：長さとかさ】 ○量感覚を豊かにし、数の大きさと単位の関係を理解すること。	・体験的な理解を伴った授業を実施することで、実際の量感覚を養う。 ・図形・測定領域の単元の始めには、既習事項の確認を丁寧に行い、算数の用語を用いた説明や適切な量感覚をつかめるようにさせる。
理 科	【領域：エネルギー】 ○実験の結果を、表やグラフに整理して分析的に読み取ること。	・実験結果をまとめる表やグラフを教員側から提示することで、結果をまとめるときに有効な手だてを知ることにつなげる。 ・いつも同じ手順（問題→予想→実験→結果→考察→結論）で学習を進めるようにすることで流れを明確にする。
社 会	【領域：地域にみられる生産や販売の仕事】 ○資料を用いてその情報を正しく読み取り、資料から分かったことをもとにさらに思考すること。	・まずは資料を正しく読み取ることが大切にする。そのために、導入を工夫して意欲を高める。意欲の高い状態から資料の読み取りに入ることにより多くのことを資料から読み取ろうとする気持ちを高める。 ・資料から分かったことをもとに、なぜ地域の様子に特徴があるのか考え、その経緯や人々の気持ちにも気付けるような発問・教材の工夫をする。